

「救済井戸の共同利用」

(浜松市小松尾島自主防災隊)

特徴ある活動

- 小松尾島自主防災隊のある尾島地区は地下水が豊富にあり、現在も普段の生活の中で自家用井戸を利用される家庭が多い。

このため、大災害時の飲料水、生活用水を確保すべく、自家用井戸を共同で利用できないかと考え、昨年より「救済井戸」の登録を行っている。

井戸の所有者に提供可否についてアンケート調査を実施したところ、約 60 戸のお宅から共同利用の申し出があり、ポンプの設置状況を確認の上、水質検査を実施し、調査の結果 13 箇所の井戸について登録を行った。

今後の課題として、動力源となる発電機の購入や、水質検査の実施など事業費が大きな金額となるため、防災関連予算に鑑み、少しずつ増やしていきたいと考えている。

自主防災組織の概要

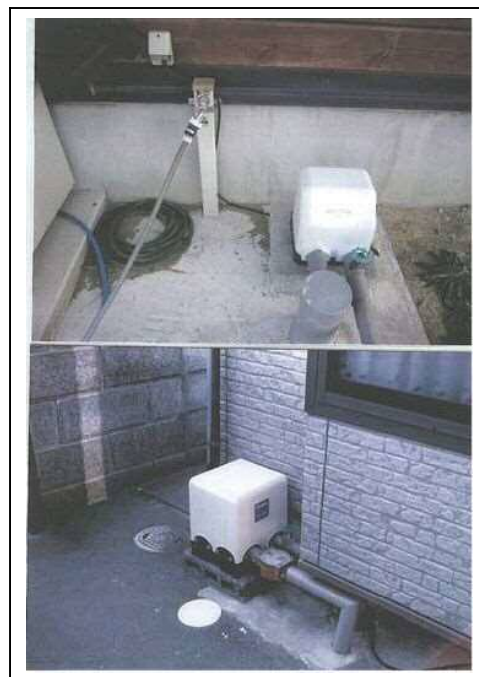
小松尾島自主防災隊は世帯数 290 世帯から構成されている。

市街地から北北東へ約 11 km 離れた浜松市浜北区の南西に位置し、西には二級河川の馬込川が流れる。

最近の子育て世代の移住が多く、小学校児童数は他の地区に比べ多い。



小松尾島井戸
(救済井戸状況写真 1)



小松尾島井戸
(救済井戸状況写真 2)